

第 39 回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会議事録

1. 開催の日時 平成 29 年 7 月 10 日 (月) 午後 3 時 00 分～午後 5 時
2. 開催の場所 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
食品開発研究所 大会議室 (1 階)
3. 出席者氏名 出席者名簿のとおり
4. 会議の概要

(1) 平成 28 年度実績報告に関するセンターヒアリング

説明資料「平成 28 年度業務実績報告書」(産業技術センター資料)
について説明。

○ 主な質問及び意見

- 自己評価において「積極的な情報発信・広報活動」が「B (おおむね計画どおり)」の評価で、「予算の効率的運用」が「A (計画を上回っている)」と判断した基準がわかりづらい。
- 「A」と自己評価した根拠を数値などで明示した方がよいのではないか。
→ (センター回答)
 - ・ 広報活動は年度計画にある様々な手段により情報発信しているが、その成果が図りにくいことから「B」と判断。委員からも情報発信の手法についてアドバイスをお願いしたい。
 - ・ 「予算の効率的運用」については、空調の厳格管理、施設照明の計画的な LED 化などを進め約 1 億 1000 万円の剰余金を生み出した。そのうち約 3,500 万円を機器整備等に充当しており、経費抑制をサービス向上につなげていることから「A」と判断した。
- 外部機関に派遣研修した職員が、研修終了後に知識経験などをセンター内でものように共有しているか。
→ (センター回答)
 - ・ (研修中に) 一週間ごとの週報や、研修終了後のレポート、復命書などをセンター内で情報共有している。
- 特許出願について、年 4 件という数値目標は達成されているが、県内企業の知的財産の保護を考えた際には、もっと積極的に出願に向かってもいいのではないか。

- 昨今、コンプライアンスの重要性がますます大きくなっていることから、さらに重点を置いて取り組んでほしい。

(2) 今後の評価作業について

- 評価作業スケジュールについて、事務局より説明。
 - 各委員による評価案の事務局提出について、7月26日期限内で依頼
 - 評価の全体案については、8月14日ごろを目途に各委員に確認依頼する予定。
 - 次回評価委員会は8月22日に開催することで各委員了承。